

## 会よりのお知らせ

### ○ 昭和59年度会費改訂について

前号でお知らせしたように、昭和59年度より本会の会費が表1のように値上げとなります。幹事会では慎重な審議を重ね、昭和58年7月11日の幹事会および9月2日の常任幹事会において会費の値上げを承認いたしました。その後、10月24日の応用物理学会理事会において承認を得ました。会員の皆様にご負担をかけることとなりますが、本会の財政状況に鑑み、ご理解をいただきたくお願い申し上げます。

表1 改訂会費

	現行会費	改訂会費
個人会員(A, Bとも)	4,300円	6,000円
特別会員	—	7,000円
賛助会員	40,000円 (57年度改訂)	据置き

### ○ 昭和58年度第3回編集委員会

昭和58年9月7日(水)に東京本郷の学士会分館において開催され、「光学」各号の編集状況と企画、光学シンポジウム特集号の取扱いなどについて報告と審議が行なわれました。

### ○ 第21回サマーセミナー報告

「新しい光学技術と半導体レーザー」のテーマで、昭和58年8月24日(火)～26日(金)に長野県下諏訪町の山王閣において開催されました。詳しい報告は本号の「さろん」をご覧ください。

### ○ 第17回光学五学会関西支部連合講演会のお知らせ

「光電子材料と光素子」のテーマで、昭和59年1月27日(金)に大阪駅前的大阪市立大学文化交流センターにおいて開催されます。詳細は本号別掲のプログラムをご覧ください。お早めに参加申込みをしてください。締切は1月13日(金)です。

### ○ 光学懇話会主催微小光学特別セミナーのお知らせ

「オプトエレクトロニクスの材料および加工技術の先端を探る」のテーマで、昭和59年3月13日(火)、14日

(水)に東京芝公園の機械振興会館において開催されます。詳細は本号巻末綴込みのプログラムをご覧ください。お早めに参加申込みをしてください。締切は2月29日(水)です。

### ○ 第9回光学シンポジウム講演募集のお知らせ

昭和59年6月5日(火)に東京六本木の東京大学生産技術研究所において開催予定の1984年第9回光学シンポジウムの講演を募集いたします。詳細は本号別掲の講演募集をご覧ください。お申込みください。応募締切は2月13日(月)です。

### ○ 微小光学研究グループよりのお知らせ

#### ● 第10回微小光学研究会の報告

昭和58年10月4日(火)に慶応大学理工学部において65名の参加者のもとに開催いたしました。秋の応物学会より6件のトピックスを集め、じっくりと報告していただきました。資料はMicro-Optics News Vol.1, No.3に掲載しております。研究会のあと、屈折率分布型プラスチック・ファイバ関係の見学会を行ないました。

(青学大理工 庄野裕夫)

#### ● 第11回微小光学研究会の予定

日 時：昭和58年12月19日(月) 13:30～17:00

場 所：理化学研究所レーザー棟会議室

埼玉県和光市広沢 2-1

テ ー マ：最近の技術話題

- 内 容：1. 国際会議報告：欧州光通信会議、欧州光集積回路会議より  
伊賀健一(東工大精研)  
山崎哲也(日本板硝子)
2. 講演：エッチングによる単一モード光ファイバーカプラーの製作  
中島俊典, 宮川一郎, 斎藤弘義(理研)
3. 講演会：光ディスク用半導体レーザー特集  
尾島正啓, 有本 昭(日立中研), 和田優(松下電子), 土方俊樹(シャープ), 栗原春樹(東芝), 玉利邦喜(三菱電機)
4. 見学：光学計測研究室

資 料 費：1,000円(お茶代を含む)

問合せ先：〒157 東京都世田谷区千歳台 6-16-1

青山学院大学理工学部 庄野裕夫

電話 03-307-2888 内線 244

#### ● 微小光学特別セミナーの予定

詳細は本号巻末綴込みのプログラムをご覧ください。

○ 光計測研究グループよりのお知らせ

● 第 11 回光計測研究会の報告

昭和 58 年 10 月 31 日(月)に東京大学生産技術研究所において 17 名の参加のもとに開催されました。講演は「光波測距儀について」(日本光学, 佐藤裕)および「ジャイアント・パルス YAG レーザーによる高炉炉頂プロフィールの測定」(東芝生産技研, 藤森康朝)が行なわれました。それぞれに対して, 気象条件の補正法, 測定の上限, 新応用分野, および粉塵の光吸収や屈折率ゆらぎの影響, 光によらない方法との比較などに関して活発な質疑討論が行なわれました。(理研 山口一郎)

● 第 12 回光計測研究会の予定

日 時: 昭和 58 年 12 月 26 日(月) 14:00~17:00

場 所: 東京大学生産技術研究所第一部輪講室  
東京都港区六本木 7-22-1

演 題: 1. 二重回折光学系を用いた干渉計とその応用 豊岡 了(埼玉大工)

2. レーザーを用いたプリント板銅箔パターンの検査法

安藤護俊(富士通厚木研)

参加費: 300 円(お茶, 資料代)

問合せ先: 〒351 埼玉県和光市広沢 2-1

理化学研究所光学計測研究室 山口一郎

電話 0484-62-1111 内線 3242

正 誤 表

前号(第 12 巻第 5 号) 374 ページに誤りがありましたので, お詫びして訂正いたします。

塩入 論・池田光男・内川恵二氏の研究「図形の視覚認識と触覚認識」の受理日は, 1983 年 6 月 6 日です。

○ 新入会員

会員番号	氏 名	所 属	会員番号	氏 名	所 属
A 1875	小枝 勝	(株)島津製作所	1318	平野 雅夫	(株)富士通研究所
1876	長岡 新二	武蔵野通研	1319	伊藤 昇	松下電器(株)中研
1877	初沢 毅	計量研究所	1320	大家 左門	(株)小野測器技術センター
1878	山本 武夫	パイオニア(株)技研	1321	川畑 州一	東京工芸大学
1879	西井 完治	松下電器(株)中研	1322	河合 滋	日本電気(株)
1880	森谷 直司	(株)島津製作所	1323	齊郷 和秀	同 上
1881	山田 真樹	富士ゼロックス(株)生産技研	1324	中内 純	三菱レイヨン(株)
1882	厚木通研 図書室		1325	竹内 正明	日本赤外線工業(株)
1883	木田 英機	(株)ニデック	1326	高瀬 實	出光石油化学(株)
1884	田中 治夫	ローム(株)	1327	和田 直樹	住友金属鉱山(株)
1885 (B-761ヨリ)	関 一寿	富士写真光機(株)	1328	大浦 浩一	芝浦工業大学
B 1316	菊池 和朗	東京大学	1329	齊藤 英敏	神戸大学
1317	中野 智史	小西六写真工業(株)	1330	坂口 隆裕	ティアック(株)
			1331	宮川 一郎	学習院大学

編 集 後 記

本号は「光学シンポジウム」の特集号である。昨年の同号はシンポジウムの各題に対して「研究」, 「技術報告」等の分類をし, 投稿論文として他の号と同じような扱いをした結果, 発行が大幅に遅れ, 今年 3 月になってしまった。本号は, これを反省し, 発行日(12 月 10 日)を守ることに重点を置き, 一昨年までと同じく「光学シンポジウム特集号」という特別扱いの号とした。このため, シンポジウムの発表者にとっては不本意な扱いとなってしまったかもしれないが, お許しいただきたい。

この「光学シンポジウム」号は編集上問題を含んでおり, それに対する本誌での扱いは幹事会および編集委員会で検討の結果, 1 題 1 ページ以内のダイジェストとして収録することになった。本誌での扱い方が変わっても, 次回のシンポジウムには多数の講演申込みがあることを願っている。

(本田, 山本, 中島)

## 第17回光学五学会関西支部連合講演会ご案内 ——光電子材料と光素子——

近年、光学ならびにエレクトロニクスの協調的發展には目覚しいものがあり、光を利用して成り立つ電子諸技術が多方面に展開されております。光学五学会では、今回、それらの基盤となる新材料および新素子の先端技術や最近の話題について、それぞれの第一線を担っておられる方々にご講演いただくことになりました。関係学会員はもちろんのこと、関連分野以外の方々にもご参考になるところが多いと存じますので、是非ご来聴くださいますようお願い申し上げます。

日 時：昭和59年1月27日(金) 10:00~17:00 (受付開始 9:45)

会 場：大阪市立大学文化交流センター大ホール  
大阪駅前ビル第3棟16階 (電話 06-344-5425)

主 催：照明学会関西支部，日本色彩学会関西支部，日本分光学会関西支部，  
日本写真学会西部支部，応用物理学会光学懇話会

協 賛：赤外線技術研究会，日本表面科学会，電子通信学会関西支部，電子写真学会関西支部，  
応用物理学会関西支部，日本化学会近畿支部，日本材料学会関西支部

### プ ロ グ ラ ム

- 1) 10:00~11:00 半導体光素子の基礎と最近の話題……………東工大工・末松 安晴  
光エレクトロニクスの分野で広く用いられる光デバイスの基礎；電子遷移と発光・吸収，半導体レーザの静・動特性の基礎，光検出器の雑音，半導体材料と波長，能動光集積回路等について述べる。
- 2) 11:00~12:00 通信用半導体レーザと光検出器……………三菱電機・須崎 渉  
半導体光素子は今後の情報化社会の情報伝送・処理システムに不可欠である。ここでは，光通信に用いられる半導体レーザと光検出器について，その種類，特性，信頼性に関する最近の進歩を中心に述べる。  
12:00~12:50 昼 食
- 3) 12:50~13:50 波長可変赤外半導体レーザとその応用……………富士通研・篠原 宏爾  
鉛カルコゲナイドレーザは，6~20  $\mu\text{m}$  領域の光源であり，機能的にきわめて高性能なものである。このレーザの性能および超高分解能分光やガス検知への応用について述べる。
- 4) 13:50~14:50 光ディスクメモリー材料……………松下電器・竹永 睦生  
光ディスクは半導体レーザによる即時記録・再生，高速ランダムアクセスが可能で，高密度・大容量メモリーとして研究開発が活発化している。ここでは，酸化物系の材料を中心にメモリー材料の概要を述べる。  
14:50~15:00 休憩
- 5) 15:00~16:00 アモルファスシリコン光電子材料……………三洋電機・桑野 幸徳，大西三千年  
新しい光電子材料としてアモルファス Si が注目を集めている。アモルファス Si 材料の特徴および製法，その特長を生かして開発されている各種の新デバイスについて述べる。
- 6) 16:00~17:00 ディスプレイ用材料の最近の進歩……………シャープ・鈴木 忠二  
CRT をはじめとするアクティブ表示素子とその材料および液晶表示素子をはじめとするパッシブなディスプレイ材料などの最近の技術動向を概説する。素子の発光原理についても簡単にふれたい。

参加申込みについて

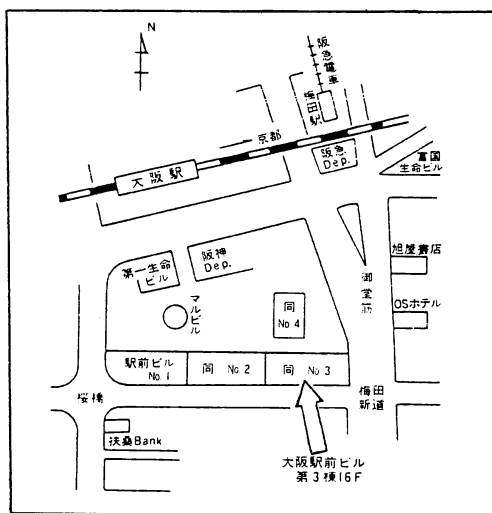
参加費：五学会員および協賛学会員：5,000円（会社・一般）、3,000円（学校・国公立研究所）、学会員外：7,000円、学生：1,000円（いずれも予稿集代を含む）、予稿集のみ希望の場合：1,500円（送料込、講演会終了後郵送）

申込み締切：昭和59年1月13日（金）必着（ただし、先着100名まで）

申込み先：〒530 大阪市北区堂島浜2丁目1-25 中央電気クラブ内  
照明学会関西支部 加納 肇（電話 06-345-6351(代)、06-341-2529(直)）

申込み方法：下記申込用紙に必要事項を記入のうえ、必ず参加費（現金書留または三和銀行堂島支店普通預金口座 54858 光学五学会関西支部）を添えてお申込みください。予稿集は当日会場でお渡します。

会場案内図



..... 切り取り線 .....

第17回光学五学会関西支部連合講演会参加申込書

昭和 年 月 日

下記の通り参加費 \_\_\_\_\_ 円（現金・振込）を添えて申し込みます。

氏 名：

勤務先：

参加章送付先：〒 ( )

電話 ( )

所属区分：     • 学会員（会社・一般、学校・国公立）     • 学生     • 学会員外

（○印で囲んでください）

**1984年第9回光学シンポジウム講演募集**

光学懇話会の会員の皆様が日頃の研究ならびに開発において取り組んでおられる課題に関して、完了した仕事でなくて途中であっても、問題点がある程度浮き上がってきた事柄について講演発表を行ない、他の会員との討論を活発に行なえる場として「光学シンポジウム」を設けております。この趣旨をさらに発展させるために、会員の皆様が積極的に講演発表されるよう期待いたします。

**i) 応募講演の分野：**

光学素子の設計と製作，光学材料，光情報処理，微小光学，生理光学，光計測に関する研究開発など。

**ii) 応募講演の性格および内容：**

光学懇話会会員の研究発表の場として活発なものにする目的で、次のような内容で行ないます。

- a) 原則として未発表のものとします。ただし、たとえば応用物理学会講演会での予報的報告の詳述発表は妨げません。
- b) 内容は上記の範囲内で独創性のあるものならよく、実際的問題や技術開発的性格の講演を歓迎します。また、問題提起の講演も可とします。

**iii) 講演時間：討論を除き 20 分。****iv) 応募資格：光学懇話会会員（ただし、賛助会社所属の方も可）。****v) 応募方法：**

講演題目、氏名、所属、連絡先、電話番号を明記し、200字以内のアブストラクトを添えて、下記の「光学シンポジウム」担当幹事までお申込みください。

〔送り先〕 〒243-02 神奈川県厚木市飯山 1583  
東京工芸大学工学部写真工学科 畑田豊彦  
電話 0462-41-0454 内線 112

**vi) 応募締切：昭和 59 年 2 月 13 日(月)****vii) 応募講演の審査および予稿原稿の提出：**

講演数は 10 件程度とし、応募件数が多い場合は調整します。採用した講演については、オフセット予稿の原稿（所定の用紙使用）を提出していただきます。締切は 4 月 30 日(月)です。

**viii) 「光学」掲載のダイジェスト原稿の提出：**

「光学」に光学シンポジウムダイジェストを掲載しますので、原稿を提出していただきます。長さは「光学」原稿用紙で、図、表を含めて 4 枚以内（刷上り 1 ページ以内）とします。締切は 5 月 15 日(火)です。なお、光学シンポジウム特集号は発行いたしません。

**ix) 講演の日時および場所：**

日時：昭和 59 年 6 月 5 日(火) 10:00~17:00  
場所：東京大学生産技術研究所第 1 会議室（交渉中）  
東京都港区六本木 7-22-1

**x) その他：**

プログラム等の詳細は「光学」第 13 巻第 2 号 (1983 年 4 月) に掲載します。